

富士山利用者負担制度の導入に向け社会実験実施

世界遺産に登録された富士山で、7月25日から8月3日までの10日間、登山者を対象に富士山保全協力金を呼び掛けたところ、山梨・静岡両県で、3万4327人から3413万2422円が集まりました。この社会実験では、来夏の富士山利用者負担の本格導入に向け、データ収集と解決すべき課題を整理するため、アンケートも実施しました。今後、この結果を参考に、利用者負担制度導入に向けての議論を行っていきます。



協力していただいた登山者に記念品の缶バッジ(右下)をプレゼント(吉田口登山道六合目にて)

国産ワインコンクール開催

国産ブドウを100%使用したワインを対象とする第11回国産ワインコンクールが開催されました。全国103のワイナリーから過去最多となる762点のワインが出品され、マスター・オブ・ワイン協会前会長のリン・シエリフ氏など外国人を含む審査員25名が、2日間にわたって審査。その結果、363点が入賞し、部門最高賞12点のうち、7点を県内で醸造されたワインが占めました。8月31日には公開テイスティングが行われ、全国から多くのワインファンが詰め掛けました。



過去最多出品となったワインを一本一本評価する審査員たち

新ブランド「甲州富士桜ポーク」デビュー!

7年の歳月を掛けて開発された山梨県の新しい銘柄豚肉「甲州富士桜ポーク」の発表会が、8月7日に行われました。「甲州富士桜ポーク」は、肉質がきめ細やかで軟らかい食感を持ち、ポリウム感のあるロースと、口の中でとろける脂肪が特徴です。来年3月までは県内の限定飲食店で味わうことができ、4月からは店頭での販売も始まります。ジューシーな口当たりをぜひお楽しみください。

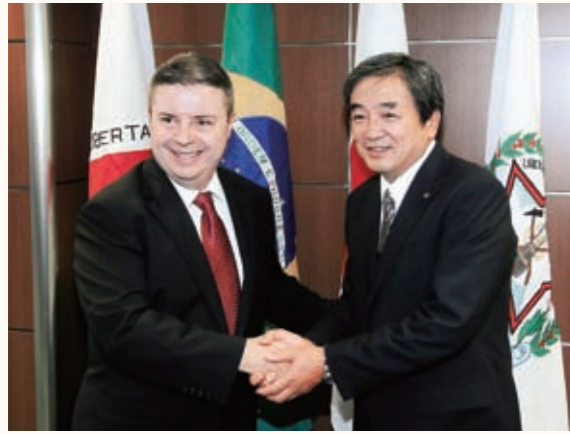


甲州富士桜ポークを使った「バラ肉のポトフ」(左)と「骨付きロース肉のグリル」

甲州富士桜ポーク 検索

ミナス・ジェライス州と姉妹締結40周年

本県とブラジル連邦共和国ミナス・ジェライス州との姉妹締結40周年記念事業が、ミナス・ジェライス州で行われ、平出副知事一行が出席しました。40周年に当たり、これまでの交流関係の強化・拡大や、民間レベルでの交流活性化につながるため、新たな協定の締結を行いました。また、ブラジル山梨県人会創立60周年記念事業にも出席し、これまでの活動に敬意を表すとともに、ふるさと山梨を語り合うなど懇親を深めました。



協定を締結し握手を交わす平出副知事(右)とアナスタジア ミナス・ジェライス州知事

ヒルクライム、トレイルランニング情報満載「やまなしを走る」サイト

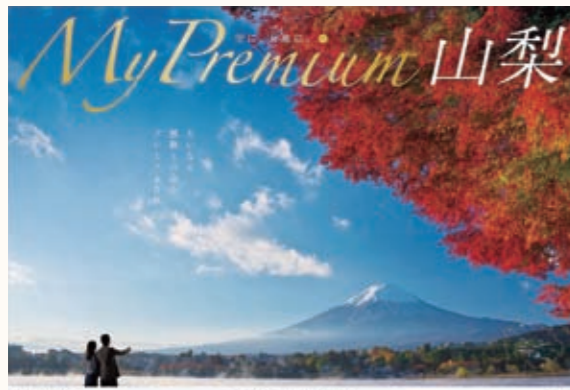
四方を山々に囲まれた山梨県。その地形を生かして行われているヒルクライムやトレイルランニングのモデルコースを紹介する「富士の国やまなしを全力で走るサイト」を開設しました。サイトには、周辺の観光情報や初心者へのアドバイス、トップアスリートのインタビューも掲載。今後、サイクリングやマラソンのコースも含め、4分野で計20以上のコースを掲載するなどコンテンツを充実し、県内外の愛好家にPRしていきます。



やまなし 全力で走る 検索

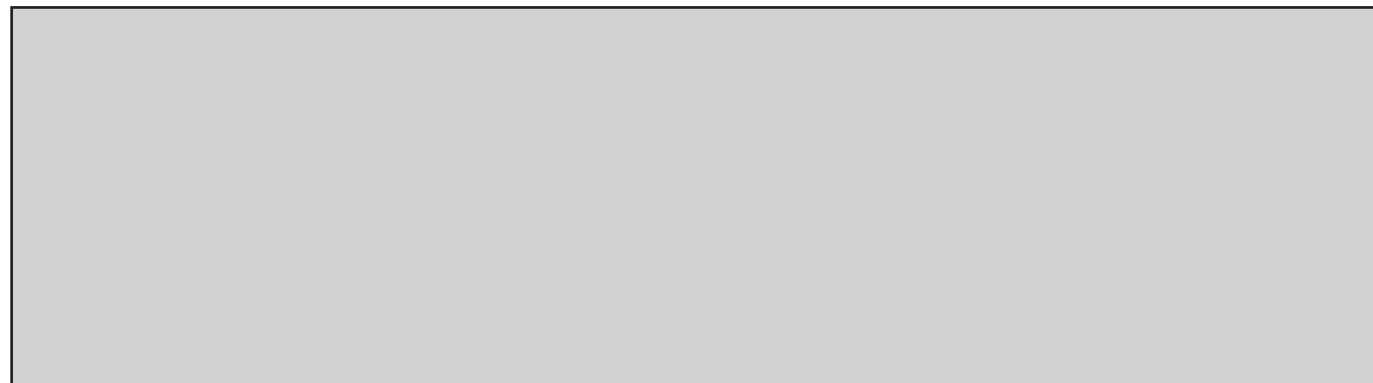
秋の山梨観光キャンペーン「My Premium 山梨」空に、大地に。「始まる」

やまなし観光推進機構とJR東日本は、9月1日から11月30日まで、山梨の秋の魅力を発信する観光キャンペーンを実施しています。このキャンペーンでは、ブドウやワインに加え、世界遺産に登録された富士山、通年開催中の国文祭などをテーマに、山梨の多彩な魅力をアピール。また秋の山梨を堪能できるイベント列車の運行や、県内を巡るさまざまなツアー、イベントを行い、イメージアップと誘客につなげていきます。



キャンペーンポスター(紅葉の河口湖畔から富士山を望む)

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。



ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。

